

みなさまへ、
～フォーレ歌曲コンサートの生まれいづるとき～

若葉の緑が雨に濡れ深くなってくる頃、フォーレの歌曲を谷口敦子さんと親密な空間、モーツアルト・サロンで歌えることが幸いです。

フォーレは私のフランス歌曲への始まりでした。大学生の時、担任の木川田誠先生からフォーレ『レクイエム』の中のPie Jesu (ピエ イエズ)の宿題をもらってクラスで歌ったら、即座に「あなたはフォーレが、フランス歌曲が良く合う」と言われました。その後、ショーソン、デュパルク、ドビュッシーも歌っていました。パリへの給費留学試験の時にはフォーレの「優しき歌」全曲を歌いました。

パリでは、私の恩師のノエミ・ペルージュはフォーレ歌いとして名高い人でした。のちに教えを受けたカミーユ・モラヌからもフォーレの音楽の深さを教わりました。二人の先生は私がフォーレを歌うことをこよなく喜んでくださいました。以来フォーレは私の中で息づき、折にふれりサیتالでは取り上げてきましたが、昨年の何時頃からか… 心に生き続けるフォーレは、私の中でまた新たな姿となって育っていくのを感じていました。フォーレは いのち を深く見つめて謳い上げているように思いました。近頃になり私自身も時の流れの中で、人生に映るさまざまな心の現象、出来事によって以前には見えなかったこと、知らなかったことが静かに感じられるようになりました。

フォーレが聴覚を失った晩年に書かれた2つの作品を通して、私は自然の中にたゆまてゆく人のいのちへの深い愛とその旅を見つめました。

“それは 世の始まりの朝……” で始まり、最後の曲は “今、夜の庭に花開こうとしている……”。

このフォーレ歌曲だけでのプログラムを立てたとき胸が高鳴りました。

そして、奇しくも今年はフォーレが去って100年目になるということにも驚きました。

若葉の緑深く繁るとき、お聴きいただければ幸いです。

奈良 ゆみ 2024年4月11日、パリにて

奈良 ゆみ / ソプラノ Yumi Nara, soprano



Photo: Brigitte Enguérand

相愛大学卒業後、仏政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学びメシアンに注目される。以後パリを拠点とし欧州各地で演奏活動を展開。デュサパン、ユロワ、ダオ、平義久、松平頼則などの現代作曲家に作品を捧げられ数多くの初演を行う。

メシアン『ハラウィ』をはじめ、シェーンベルク『月に憑かれたピエロ』、オハナ『三つの御花(オハナ)の物語』、中世から現代作品までア・カペラで綴った『ソロ・ヴォイス』などが高い評価を受ける。また仏政府文化省の派遣により、サティ、フランス六人組、ラヴェルなどの演奏を東欧、ロシアにて数多く行っている。さらに、西鶴の『好色一代女』のテキストを使ったジャン・クロード・エロワの作品『仏明会』や、松平頼則のモノオペラ『源氏物語』の歌い手として、日本の音楽・文化が西洋の現代音楽と結びつく可能性を明示した。パリで開催されたメシアン生誕百年記念オープニング・コンサートでは『ミのための詩』を歌った。(Pf: R. ムラロ)

ピーター・ブルック演出の『骨』、『マハーバーラタ』に役者として出演。

日本では、ドビュッシー『ペレアスとメリザンド』(フルネ指揮、東京都交響楽団)、ブーランク『人間の声』(ワッセルマン演出、Pf: 寺嶋隆也)、松平頼則作曲、笈田ヨシ演出『葵の上』他、2001年より大阪モーツアルト・サロンで『フランス歌曲全貌シリーズ』(pf: 谷口敦子)を中心にクリエイティブなテーマでリサイタルが催されている。

CD 録音も数多く、ヨーロッパでリリースされた『ドビュッシー歌曲集』(Pf: C. ラヴォワ) <Cypres> は仏音楽誌 (Le Monde de la Musique) に最高推薦盤に挙げられ、メシアン『ハラウィ』(Pf: J. ゴットリーブ) は『メシアン全集』<Deutsche Grammophon> に収められている。2022年『祝祭の夜-サティとフランス六人組』公演で大阪文化祭賞受賞。

谷口 敦子 / ピアノ Atsuko Taniguchi, piano



神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒。

第1回ウィーン国際音楽コンクールにてJ.Fベルヌー賞受賞。ポーランドのフィルハーモニック・オルシュティンにソリストとして招かれる。平成9年度大阪府芸術劇場奨励新人。

パッサからフランス近・現代、松平頼則、武満、ケージ、クラムなど幅広いレパートリーを持つ。ザ・フェニックスホール、モーツアルト・サロン、イシハラホールでのリサイタルなどのソロ活動の他、室内楽・歌曲・合唱等様々な分野で、コラボレイティブ・ピアニストとして活躍中。

内なる響き～モンボウのピアノ曲とその周辺、松平頼則と彼に影響を与えた作曲家達、奈良ゆみフランス歌曲全貌シリーズ、没後10年メシアン歌曲全曲演奏会、キャバレー・シェーンベルク、シェーンベルク3大歌曲集演奏会、ドイツ歌曲作曲家別シリーズ、パッサによるヴァイオリニストへの捧げ物、ベートーヴェンヴァイオリンソナタツィクルス、モーツアルトヴァイオリンソナタシリーズなど、多彩な演奏活動を展開している。

M. プーヴェ、J. ゴットリーブ、S. キアパラン、D. シュルマン、益子明美、故小柳芳子、故岡坂恭子の各氏に師事。度々渡仏し、研鑽を積む。

エコーきさらぎ、コールピンネ、立命館大学混声合唱団メディックスのピアニスト。京都フランス歌曲協会、日本演奏連盟各会員。

■会場アクセス■

モーツアルト・サロン

地下鉄谷町線・堺筋線『南森町駅』、
JR東西線『大阪天満宮駅』

地下鉄の①番出口徒歩5分
(2つの駅は地下で連絡しています)

〒530-0047

大阪市北区西天満 5-10-14

TEL: 06-6364-5836

